

組織運営の強化に 関する人材計画

～組織的且つ計画的な人材採用と育成～

2025 – 2030



2025年12月
一般社団法人日本デフ水泳協会

【現状課題】

2025 ~2030

【今後の対策】



- 必要な人材の採用は、財源確保が前提となるため、助成金や補助金が獲得できた場合のみ可能となっている。
- 中長期的に当協会の中核を担う若手人材の育成については、十分な経験のある即戦力の人材を採用するようにしている。
- 各部局ごとに求める人材の戦略を立てる必要がある。
- 現職スタッフのスキルアップや人脈拡大も必要である。



- 助成金・補助金の獲得に依存しない、安定的な財源の確保。
- 必要な業務と人材を洗い出し、中長期的に協会の中核ポジションを担える人材を組織的計画的に採用し、育成する。
- <事務局>
 - ・企業協賛などによる収入拡大のため、セールスマーケティング分野に長けた人材を募集する。
 - ・ガバナンス力向上のための運営管理人材を確保する。
- <強化部>
 - ・2027年世界デフ水泳選手権大会、2029年デフリンピック、に向けて、更なる競技力向上のための指導者育成。
- 外部の研修会等へ積極的に参加し、知識や能力を向上させる。
- デフ他競技団体関係者とも積極的に交流し、情報収集や人脈形成に励む。